



宮澤靖代表理事

謹賀新年

栄養経営士の能力を活かし、地域と多職種の期待に応える医療職に！

一般社団法人日本栄養経営実践協会は、2020年6月で6周年を迎えます。栄養経営士正会員は625人、栄養経営サポーターは25人になりました(2020年1月7日現在)。
宮澤靖代表理事より、新年のご挨拶を申し上げます。

栄養療法のスキルを高め積極的な提案を

新年、明けましておめでとうございます。

本協会は皆さまのご指導・ご鞭撻により、今年5月で設立6周年を迎える運びとなりました。厚く御礼申し上げます。

今年4月の診療報酬改定に向けた議論の内容を見てみますと、今後管理栄養士は医療職として高度な栄養管理を求められることになりそうです。管理栄養

士にとってありがたい反面、責任の重い話でもあります。

医療が進歩し、昔は救命できなかった人が

助かる時代になりました。では、その患者さんのQOLはどうでしょうか。食事療法だけでは対応しきれない状況が増え、栄養療法が必要になってきています。食事療法は栄養療法の一部でしかない

と認識し、もっと栄養療法のスキルを身につける必要があります。

また、管理栄養士も医療職＝治療職種であるならば、日々の発言が重要になってきます。

医師が欲しいのは現状報告ではなく、患者さん

が良くなるための提案です。多職種が参加するカンファレンスなどの場でも積極的に栄養療法の提案を行い、「栄養療法ができる人」という信頼を得られるようにしましょう。

地域で期待されている役割を理解し応えよう

どの施設で働いていても「治療に関わっていく」という意識は必要です。自分の働く施設は地域でどのような立場なのか、患者さんはどのような人たちなのかを理解しておきましょう。たとえば、お

看取り専門の施設なら、たとえ2割しか食べられなくても、患者さんやご家族の満足度

が高ければそれでよいのです。求められている役割を理解し、それに応えることが重要です。

なお、今後は業務の分担化が進み、給食と臨床のすみ分けがもっと進むのではないかと思います。給食と栄養管理はともに重要な仕事です。だからこそ、自分たちで信頼できるパートナーを選ぶことを第一歩としましょう。

ここは栄養経営士が担うべきところですので、ぜひともがんばってください。

論文作成しアウトカム評価につなげる

栄養経営士の皆様は、今年はずいぶん論文に挑戦していただきたい

と思います。これからの診療報酬はアウトカム評価であり、そのためには論文が必須となります。診療報酬がつ

くということ自分たちの業務に点数がつくだけではありません。NSTのときように取り組みが一気に広まり、多くの患者さんが恩恵を受けることにもつながるのです。

協会の取り組みとしては、今年はいくつか以上で会員の皆様一人ひとりに「入ってよかった」と思ってもらえる仕掛けづくりを進めたいと思っています。各支部での研究会の他に、会員の皆様へのフォローアップセミナーや栄養分野における最新情報の提供など、会員ならではのメリットを考えて協会づくりを行ってまいります。

本年が栄養経営士の皆さまのさらなる活躍の年になることを祈念いたします。新年のご挨拶とさせていただきます。

第5回「全国栄養経営士のつどい」名古屋大会

参加受付中

開催日： **3月7日(土)** 栄養経営士が切り拓く食と栄養の明日

—— 栄養分野の大変革期に示すべき指針を探る

◆全国栄養経営士のつどい

10:00~16:40 (8:30 受付開始)

◆懇親会 (参加費:5,000円(税込))

17:00~18:50 (予定)

◆事前参加登録料

日本栄養経営実践協会会員 **5,000円(税込)**

栄養経営士資格認定基礎講習修了者 **6,000円(税込)**

一般 **7,000円(税込)**

会場：**imy会議室 8階大会議室**

(名古屋市東区葵3-7-14)

お問い合わせ・
参加申込はウェブから

<https://www.nutrition-management.jp/gathering/>



栄養経営士 全国データマップ

資格創設以来6年目を迎える栄養経営士・栄養経営サポーターについて、都道府県別の人数や年齢など、データで紹介いたします。

(2020年1月7日現在)

全国の栄養経営士・栄養経営サポーター 650人
(栄養経営士:625人 栄養経営サポーター:25人)

栄養経営士 都道府県 TOP5

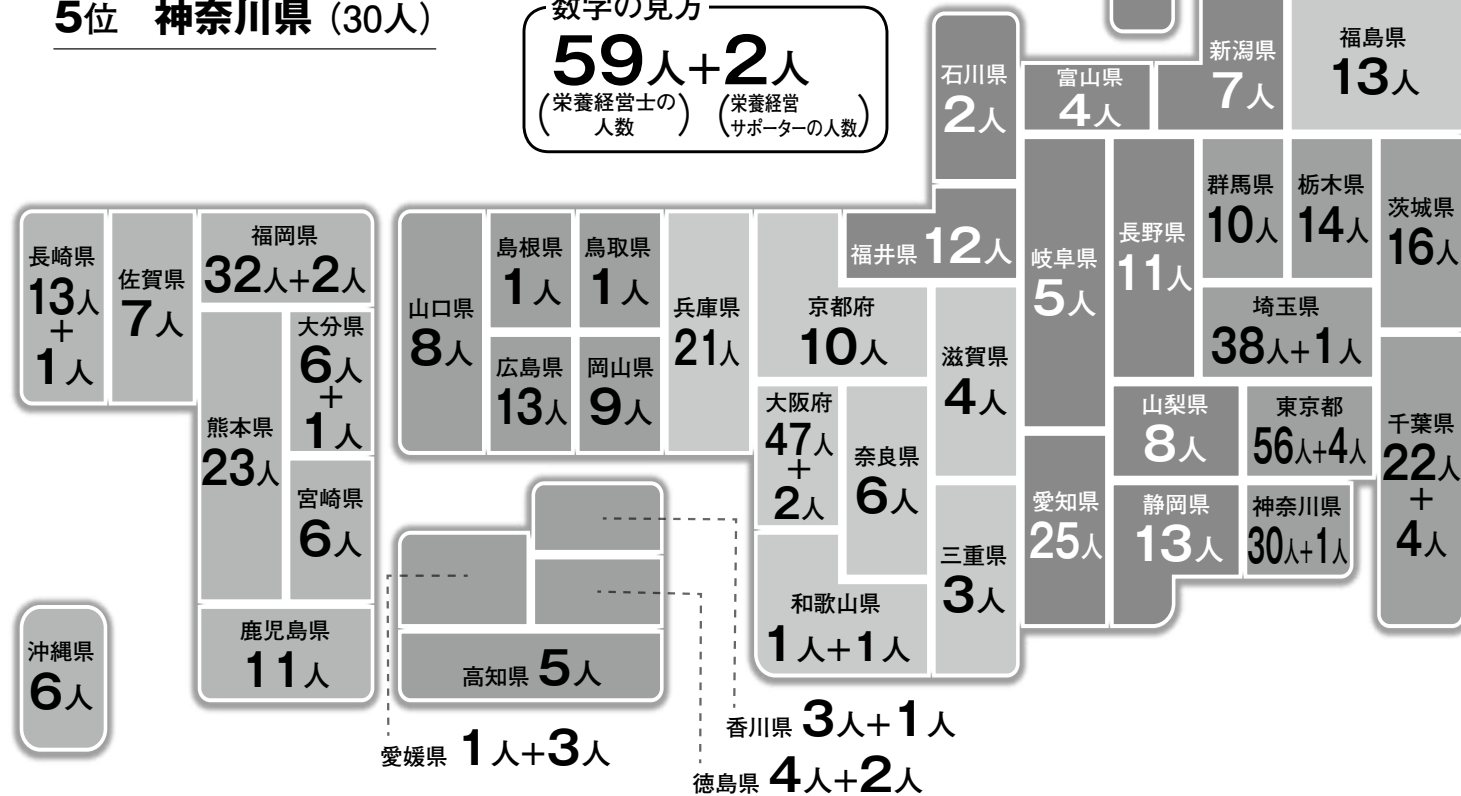
- 1位 **北海道** (59人)
- 2位 **東京都** (56人)
- 3位 **大阪府** (47人)
- 4位 **埼玉県** (38人)
- 5位 **神奈川県** (30人)

栄養経営サポーター 都道府県別 TOP3

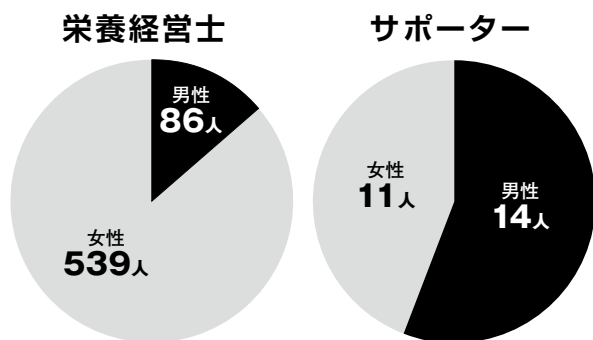
- 1位 **東京都** (4人)
- 1位 **千葉県** (4人)
- 3位 **愛媛県** (3人)

数字の見方

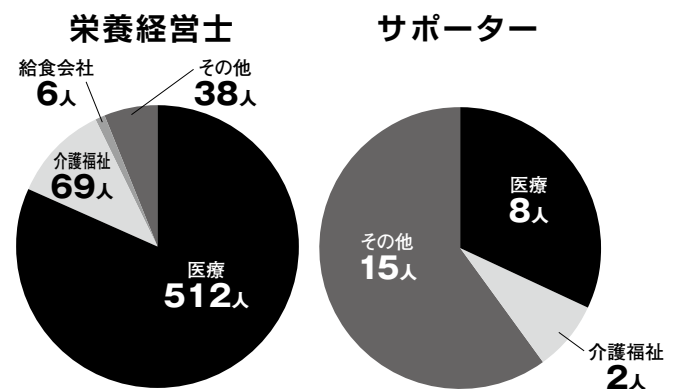
59人+2人
(栄養経営士の人数) (栄養経営サポーターの人数)



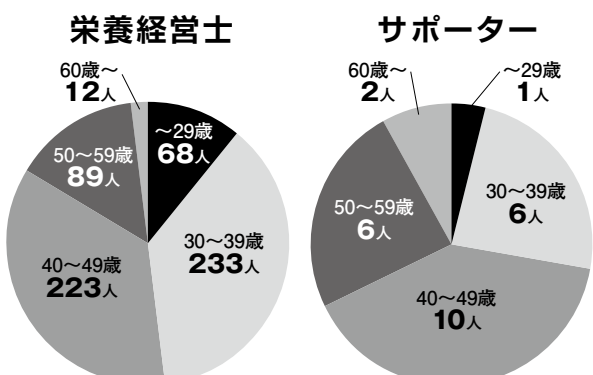
性別



業種別



年齢



業種別 (詳細)

	栄養経営士	サポーター
医療	512	8
介護福祉	69	2
給食会社	6	1
学校・教育	7	0
行政・公務員	5	0
メーカーほか	6	11
フリー・なし	20	3
	625	25

2020年は論文執筆に挑戦してみよう!

自身の業務のアウトカムをまとめることが 栄養分野全体の底上げへの貢献になる!

3月7日に開催する「全国栄養経営士のつどい名古屋大会」。同大会で基調講演を行っていただく西岡心大先生は昨年、公益社団法人日本栄養士会より「84 selection 2019」の表彰を受けられました。受賞の理由は、「回復期リハビリテーション病院における管理栄養士の参画による効果および管理栄養士病棟配置の推進への貢献」。2018年度診療報酬改定において、回復期リハビリテーション病棟入院料1で常勤の管理栄養士が1名以上配置されていることが努力義務となりましたが、この改定に大きく貢献したのが、西岡先生の書かれた論文だったのです。

回りハ病棟で管理栄養士としてリハ計画作成に参画し、栄養ケアの提供を通して患者の栄養状態改善やADL向上に努めてきた西岡先生は、その取り組みを論文にまとめ発表。EBPM (Evidence-Based Policy Making:エビデンスに基づく政策立案)の流れのなかでその論文がエビデンスとなり、診療報酬改定につながりました。

2018年3月開催の「全国栄養経営士のつどい札幌大会」で登壇された塩澤信良氏(厚生労働

省保険局医療課課長補佐(当時))も、講演のなかで管理栄養士のこれからの課題の1つとして論文を書くことの重要性を挙げていました。宮澤靖代表理事も、栄養経営士に課せられた宿題として論文執筆にチャレンジすることを勧めています。

自らの取り組みを論文にして外に出すことで、多くの方に届きます。それを読まれた方のなかで「自分たちも取り組んでみよう」という方が出てくことで、栄養管理の現場は確実に変わっていきます。その成果がきちんと評価されることで、診療報酬や制度の改定にもつながる可能性もあるのです。

もちろん、論文を執筆する自分自身にとっても、大きなメリットがあります。アウトカムをきちんと論文にまとめる、というアウトプットの目的が明確になることで業務へのモチベーション向上につながるだけでなく、業務のプロセスを改めて整理し俯瞰することで、業務の選択と集中が自然と行えるからです。

2020年、新たなチャレンジとして論文の執筆にぜひトライしてみたいかがでしょうか。栄養経営士の皆さまの取り組みが、栄養分野を変えていく瞬間を期待しています。

査読委員長からのメッセージ

肩ひじを張らずに等身大の論文にチャレンジ!



医療法人ちゅうざん会ちゅうざん病院
副院長、金城大学客員教授
一般社団法人日本栄養経営実践協会
理事

吉田 貞夫氏

栄養経営士のみなさんは、日々、目の前の患者さん、利用者さんのために奮闘される毎日だと思います。栄養経営実践協会では、そのようなみなさんの日頃の努力、創意と工夫などを発表する場として、論文の作成を支援する取り組みを始めています。

科学論文を仕上げる場合、研究デザインや統計など、さまざまな知識が必要となります。もちろん、そのような研究も大歓迎ですが、日頃の実践を論文にしてみる、いわゆる「記述的な観察研究」からスタートしてみるのもひとつの方法です。日頃の取り組みでうまくいったこと、見つけたことなどを、肩ひじを張らずに、等身大のスタイルで論文にしてみませんか?

近年は、医療、介護の政策を決めていくために、活字になったもの、つまり、論文が重要視されます。みなさんの経験が、明日の栄養管理に活かされるかもしれません。

『栄養経営エキスパート』では、私も含めた査読委員の先生方がしっかりと論文作成のアドバイスをさせていただきます。みなさんのご投稿をお待ちしております。

『栄養経営エキスパート』論文投稿について

栄養経営士のための雑誌『栄養経営エキスパート』(日本医療企画)では、皆さまからの投稿を歓迎しております。適切な栄養管理によって不要な絶食患者を減らし輸液・抗菌薬の使用量を低減した取り組み、多職種協働による経口維持加算の算定件数の増加など、栄養経営に関する他誌に未発表の活動報告や症例報告などをお寄せください。投稿原稿の採否は、本誌論文委員会にて決定いたします。皆さまの投稿をお待ちしております。

査読委員

吉田貞夫(ちゅうざん病院副院長、日本栄養経営実践協会理事)／秋山和宏(東葛クリニック病院副院長、日本栄養経営実践協会副代表理事)／宮澤靖(東京医科大学病院栄養管理科科长、日本栄養経営実践協会代表理事)／真壁昇(関西電力病院栄養管理室室長、日本栄養経営実践協会理事)／阿部咲子(介護老人保健施設スカイ、日本栄養経営実践協会関東支部理事)

※その他、具体的な投稿規定、執筆上の注意点等については『栄養経営エキスパート』本誌にてご確認ください。

賀正

栄養経営士のさらなるご活躍を
法人賛助会員一同、お祈り申し上げます。

アイドゥ株式会社

株式会社 A-IHO

日清オイリオグループ株式会社

ネスレ日本株式会社

ネスレヘルスサイエンスカンパニー

林兼産業株式会社

株式会社フーズリンク

フジ産業株式会社

株式会社ヘルシーネットワーク

マルハニチロ株式会社

(五十音順)

MARUHA NICHIRO

フジ産業株式会社

林兼産業株式会社

NISSHIN
oillio
“植物のチカラ”

Advance
Innovation
Dining
Aido

ヘルシーネットワーク

foodslink

Nestlé
HealthScience

IHO



栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

学会情報

第43回日本嚥下医学会総会 ならびに学術講演会

「嚥下医学の和」をテーマに、特別講演や各種セミナーを開催。水の誤嚥と肺炎についての徹底議論をはじめ、嚥下臨床に高い専門性を発揮するための土台作りとして小児および成人領域の基礎から医療倫理までを学べる機会などを提供する。

○日 程：2020年3月14日(土)・15日(日)

○講 師：合田圭介氏(東京大学大学院理学系研究科 化学専攻 教授)
松尾浩一郎氏(藤田医科大学医学部 歯科・口腔外科学講座 主任教授)ほか

○参加費(税込)：【一般】10,000円(当日払いのみ)

○会 場：学術総合センター(一橋講堂)
(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

○お問い合わせ：株式会社学会サービス
TEL:03-3496-6950

3経営士合同ゼミ

2020年度診療報酬改定後の医療経営を考える

2月期・3月期の関西支部合同研究会は「2020年度診療報酬改定」をテーマに開催。医療機関の経営企画室での豊富な経験と実績を持つ石井富美氏の講義を通じ、診療報酬改定の要点整理から地域包括ケア時代が求める経営戦略について考察していきます。

○日 程：2020年2月29日(土)14:00~17:00

2020年3月28日(土)14:00~17:00

○講 師：石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所 副所長)

○参加費(税込)：【会員】全2回:5,000円 1回:3,000円
【一般】全2回:7,000円 1回:4,000円

○会 場：上田公認会計士事務所セミナールーム
(大阪市中央区道修町1-7-10 扶桑道修町ビル2F)

○定 員：35名(先着順)

○お問い合わせ：株式会社日本医療企画 関西支社(担当:喜津木)
TEL:06-7660-1761

九州支部

業務を「見える化」し、本当に必要な 業務の選択と集中に取り組もう

九州支部では、限られた人数で業務をこなし、さらに成果を上げるために業務の効率化に関する研究会を開催します。求められている役割と注力すべき業務は何かを一緒に考える、これからの栄養科マネジメントに役立つ内容です。

○日 程：2020年3月14日(土) 10:00~15:00

○講 師：片桐義範氏(福岡女子大学国際文理学部 食・健康学科 教授/日本栄養経営実践協会九州支部 支部長)

○参加費(税込)：【会員】3,000円 【一般】4,000円

○会 場：エイムアテイン博多駅東会議室5K
(福岡市博多区博多駅東1-12-17)

○定 員：15名(先着順)

○お問い合わせ：株式会社日本医療企画 九州支社(担当:石田)
TEL:092-418-2828

協会事務局より

2020年4月期限の会員の皆さまへ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年4月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を1月中に郵送しております。

ご確認およびお手続きのほど、よろしくお願い申し上げます。

○対 象 者：年度会費・会員資格の有効期限が「2020年4月19日」の「個人正会員」、「栄養経営サポーター」

○年度会費：【個人正会員】10,000円

【栄養経営サポーター】8,000円

○資格更新：【個人正会員】15,000円(年度会費込み)

※申請書類・課題をご提出ください。

【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)

○支払期限：3月19日(木)までに指定口座へ振込

○お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会
TEL:03-5289-7021

一般社団法人 日本栄養経営実践協会 主催

10年後も生き残れる管理栄養士を目指そう!

第10回
「**栄養経営士**」**2020年 6月7日(日)**
資格認定試験

■受験料：8,500円(税込)

■試験会場(予定)：札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・福岡

■受験資格：管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
DVD視聴による受講も可能です!

3枚組・特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 **栄養経営士**

検索



一般社団法人 日本栄養経営実践協会
The Japan Association for Nutritional Management Practice

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17 ニッテン神田ビル3F
TEL:03-5289-7021 FAX:03-5289-7022